

「VORTISSIMO!」は、より多くの方に声を出して応援していただくことを目的として、徳島ヴォルティスのサポーター有志によって制作されている試合情報紙です。

タイトルの「VORTISSIMO!」には、「Vortis」と「Fortissimo」(イタリア語で「もっと強く」の意味。音楽用語では「もっと大きな音で」の意味でも使われます)を掛け合わせて、サポーターの「より大きな声援」によってヴォルティスを「もっと強く」したい、という願いが込められています。

以下のサイトではバックナンバーをご覧いただけるほか、皆様からのご意見や情報の投稿も募集しております。

<http://vortissimo.seesaa.net/>

また、配布活動等の詳細情報については、SNS [mixi] でも発信しています。

http://mixi.jp/view_community.pl?id=1646592



この情報紙は、決してスタジアム内には捨てないでください。ゴミのないスタジアム環境作りへのご協力をお願いいたします。

来季へ向けて戦おう!

ポカリスエットスタジアムへお集まりの皆さん、こんにちは。

前回のホームゲームから3週間が経ちました。10月18日の甲府戦は、前半こそ集中した守備ができて内容的にも悪くありませんでしたが、後半に課題のセットプレーから2失点し、3試合ぶりの黒星を喫しました。さらに前節、25日のアウェイ・草津戦でも2試合連続の完封負け。3年連続の最下位が決まってしまいました。

そして、先月末には成績不振の責任を取って高本社長が辞意を表明するというショッキングなニュースも飛び込んできました。なかなか明るい話題もなく、目の前の試合に対するモチベーションも上がらないところですが、そんな時こそサポーターがクラブを支えなければいけません。

今シーズンの順位は決まってしまいましたが、それは裏を返せば最も早く来年のJ2の戦いを始められるということ。残り3試合は決して消化試合ではありません。選手たちは来年もチームに残るために(Jリーガーであり続けるために)全力でプレーするはず。サポーターはそんな選手たちの背中を後押しし、来シーズンのチームの飛躍を信じて戦いましょう!

Today's Topics

J1へ“勝ち逃げ”は許さない!

今日の対戦相手・モンテディオ山形は現在20勝8分10敗の勝ち点68で2位につけている。4試合を残して4位・湘南との勝ち点差は9、3位・仙台との勝ち点差は3。今節の結果次第では3位以内が確定する可能性もあり、悲願のJ1昇格へ向け、いよいよ最後の正念場だ。

山形は2001年と2004年に、いずれも最終節に勝てばJ1昇格もしくは入れ替え戦進出という状況までこぎ着けながら、最終節に敗れてJ1昇格の夢が潰えた経験を持っている。今シーズンはその時以上に大きなチャンスを迎えており、「3度目の正直」で悲願を達成したいところだろう。

ただ、ヴォルティスとしても山形のJ1昇格をただ指をくわえて見ているわけにはいかない。2006年以降の3年間で山形とは10度対戦して1分9敗、とくにホームでは5戦全敗を喫しており、この上なく苦手としている。負け続けたままJ1へ“勝ち逃げ”されるのは悔しいので、今年最後の対戦で何とか一矢を報いたい。

- 直近5試合:(徳島)1勝1分3敗(山形)3勝1分1敗
- J2対戦成績:(通算)2勝3分9敗(ホーム)1勝1分5敗
- 古巣との対戦:(徳島)塩川、阿部(山形)なし
- 出場停止:(徳島)麦田(山形)石井

◎ 闘将・DF河野がついに実戦復帰!

先月19日、京都府の亀岡運動公園競技場でJサテライトリーグの京都サンガFC戦が行われました。前半は徳島ヴォルティス・セカンドからメンバー入りしたGK阿部一樹の活躍などもあって京都の攻撃を無得点に抑え、30分にはFWソウザが個人技で相手のDFとGKをかわして先制ゴールを決めました。しかし後半は一転してピンチの連続となり、38分について同点に追いつかれると、ロスタイムには勝ち越しのゴールを奪われ、結局、1-2の逆転負けに終わりました。

この試合、最後の10分ほどですが、DF河野が1年4ヶ月ぶりに公式戦のピッチに立ちました。昨年6月のアウェイ・札幌戦での大怪我から、大変な手術、そして長く苦しいリハビリを乗り越えてついに実戦の場へ帰ってきた闘将に、少人数ながら亀岡まで足を運んだサポーターから大きな拍手が贈られました。次はJ2の公式戦でプレーする姿を見たいものです。頑張れ、河野淳吾!

◎ ヴォルティス・2nd惜敗、連覇ならず

先月19日、徳島スポーツビレッジで四国リーグの大一番・カマタマーレ讃岐戦が行われました。連覇のためには勝つしかない徳島ヴォルティス・2ndは前半から積極的に攻めますが、シュートがポストやクロスバーに嫌われてどうしてもゴールを奪えません。逆に後半、カマタマーレのMF下平にミドルシュートを決められてしまい、そのまま0-1で敗れて連覇を逃しました。

そして先月26日、アウェイの南国高知FC戦に6-2で勝って今シーズンの四国リーグの全日程を終了しました。11勝2分1敗、勝ち点35、得失点差は優勝したカマタマーレをも上回る+63でした。

今月はトップチームや他チームとの練習試合が組まれていますが、もうこのメンバーで公式戦を戦うことはありません。天皇杯での快進撃と草津相手の大健闘、そしてカマタマーレとの死闘など、たくさんの感動を与えてくれた選手の皆さん、ありがとうございました。トップ昇格をお待ちしています!

◎ ジュニアユース、各年代で活躍中!

先週の2日から、中学生年代の日本一を決める高円宮杯全日本ユース(U-15)サッカー選手権大会の四国予選が開幕し、徳島県代表の徳島ヴォルティスジュニアユースは順調に1次ラウンドを突破して決勝ラウンドへ勝ち進みました。

また、先週の2日にはJリーグU-14とU-13も行われ、ヴォルティスのジュニアユースはいずれもサンフレッチェびんごジュニアユースFCと対戦しました。U-14は惜しくも2-2の引き分けに終わりましたが、通算成績は6勝1分1敗の好成績。一方、U-13は1-0で勝って10連勝を達成し、通算成績はなんと10勝1敗です。未来のヴォルティス戦士たちの活躍、実に頼もしいですね!